

P1-5

群馬県における子宮頸がん罹患状況と地理的要因の分析

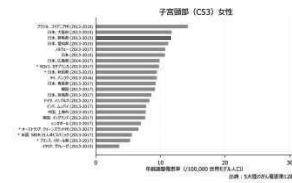
群馬大学情報学部/大学院情報学研究所

米持 晃輔, 関塚 結菜, 片山 佳代子

背景

- 5大陸のがん罹患第12版によると、群馬県の子宮頸がん罹患率は**世界で3番目に高い**
- 本研究では、群馬県における子宮頸がんの現状を明らかにすると共に、諸指標（外国人人口割合、ADI*）との関連を分析・可視化を行うことで今後の予防施策に寄与する基礎資料を創出することを目的とする

*Areal Deprivation Index(中谷ら,2016)



方法

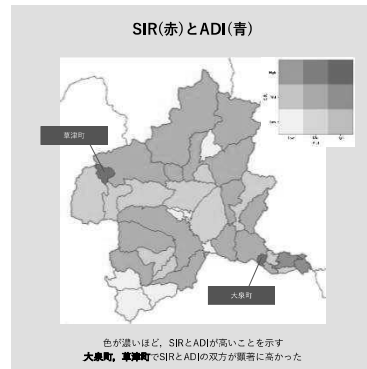
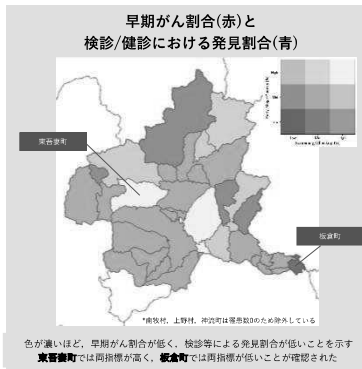
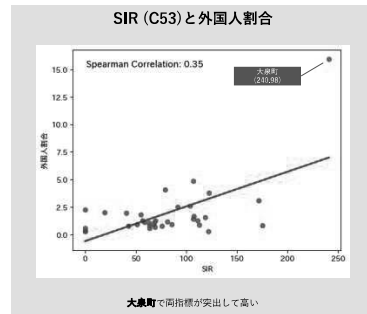
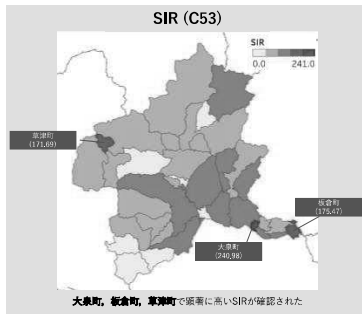
使用データ

- 群馬県の全国がん登録データ(2016年~2019年)
 - 対象コード：「C53」（690件）「D06」（1246件）
 - 使用項目：発見経緯、進展度
- 全国の子宮頸がん罹患データ(2016年~2019年)
- 女性人口データ(2015年)
- ADI(地理的剥夺指標：貧困度合いを示す)

解析・可視化

- 市町村別の標準化罹患比SIRの算出
- 発見経緯
 - 「がん検診・健康診断・人間ドック」による発見割合の算出
- 進展度
 - 「上皮内がん」「限局」を早期がんとして定義し、割合を算出
- 算出した指標とその関係をマップ・グラフで可視化(Tableau2024.2, Python 3.11)

結果



考察

- 外国人人口割合と SIR には弱い正の相関があり、外国人人口の多い地域で罹患リスクがやや高い
- がん検診・健康診断・人間ドックの受診率が高い地域では、早期がんの割合が高い傾向が見られた
- 罹患率が高いこと自体が悪いわけではなく、予防活動の充実による早期発見の可能性もある
- 罹患率の評価には死亡率の分析も必要
 - 罹患率が高く死亡率が低い場合 ▷ 早期発見・治療が成功している可能性
 - 罹患率が高く死亡率も高い場合 ▷ 進行がんの発見が多い、治療体制に課題の可能性
- ADIが高い地域ほど、SIRが高い傾向が観察された
 - 先行研究の社会的経済的地位が相対的に低い地域における子宮頸がん罹患率が高いという知見と一致している